

多治見砂防国道事務所では、関係機関の連携強化を目的に、平成18年度より管内の6市町村（多治見市、土岐市、中津川市、木曾郡南木曾町、大桑村、上松町）で順次合同防災訓練を実施しています。

今年度は、秋雨前線及び台風接近に伴う豪雨による大規模土砂災害（河道閉塞、地すべり、同時多発的に発生する土石流・がけ崩れ）に対し、土岐市、岐阜県及び国土交通省の各機関の対応および関係機関との連携対応を確認することを目的に、学習（質疑応答）型訓練を実施しました。

【訓練日時】平成30年 2月 5日(月) 13:00～17:00

【訓練会場】セラトピア土岐 2階 小ホール

【参加者】土岐市 岐阜県 防災課、砂防課  
多治見土木事務所 防災エキスパート  
多治見砂防国道事務所 **合計 52名**  
(見学者 16名)



会場全体の様子



進行者

回答者

質疑応答の様子

## ステージ1：秋雨前線及び台風接近に伴う警戒避難体制の構築ステージ (情報収集～警戒避難対応)

目的：秋雨前線及び台風の接近に伴い非常に激しい降雨が予想・観測された際に、関係機関が適切な体制を構築するとともに、市が適切に警戒避難対応を行えること

## ステージ2：災害発生・初動対応ステージ (同時多発的土砂災害発生～災害対応・緊急調査の着手)

目的：大規模な土砂災害発生の現地確認結果を受け、関連情報の収集・共有や対応方針の検討、さらには行方不明者の確認や避難勧告等の解除の判断等が迅速かつ的確に行えること

## ステージ3：大規模土砂災害対応に関わるステージ (緊急調査の実施～避難対応)

目的：土砂災害防止法に基づく緊急調査の実施や土砂災害緊急情報の通知・周知が行えること

## ステージ4：河道閉塞決壊に備えた応急対策・監視観測計画の策定

目的：河道閉塞の越流決壊に備え、監視・観測及び応急対策計画が策定されること、発生した土砂災害に対する避難勧告等情報の解除の方針が示されること



河道閉塞 監視・観測計画の説明



見学者の様子



土岐市 副市長 加藤 淳司

【開会挨拶】 土岐市 副市長

【ふりかえり】 中部地整河川部 総合土砂管理官  
多治見土木事務所 所長  
防災エキスパート

【閉会挨拶】 多治見砂防国道事務所 所長

加藤 淳司

島崎 誠

大野 真義

大塚 康司

綱川 浩章

土岐市での合同防災訓練は2回目である。1回目は平成22年度に災害対策本部の運営に関する訓練を行った。そこで学んだ知識やノウハウは、現在でも役に立っている。

今回は学習型訓練と訓練形式が異なるが、関係機関との連携が必要不可欠であることは変わらない。それぞれの災害対応能力を高めていただくことをお願いしたい。



中部地整河川部  
総合土砂管理官 島崎 誠



多治見砂防国道事務所  
所長 綱川 浩章



多治見土木事務所  
所長 大野 真義



防災エキスパート  
大塚 康司